

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年 1月11日(土) 10時 00分～15時 00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員/7名、団体会員(明石高専)/8名、その他/1名、事務局/1名 計17名

● 午前

今日は、今年最初の里山整備活動でした。今月は、正月休みを避けるため、第2土曜日を活動日にしました。先月に続いて、明石高専の先生・学生合わせて8名が参加され、合計17名の皆様が集まりました。

まず最初に、エコウイングあかし自然グループの会議を開き、最近の活動報告や今後の活動予定などについて、川島さんから説明がありました。

その後、公園入り口の北浦池の西側の雑木林で、私有地から進入してきている竹の皆伐に全員で取り掛かりました。また、カクレミノなどの常緑樹も伐採しました。

● 午後

午後は、午前中の作業の仕上げをした後、全員で散策路を一期工事区間から順に歩きながら、階段などを点検して痛んでいる部分の手直しをしました。散策路のネーミングは、今日はまだ決まりませんでした。また次回以降の活動のときに、検討を続けたいと思います。

活動の後には、会員の1人の奥さんから「ぜんざい」の差し入れがあり、全員でおいしくいただきました。

竹の伐採作業風景(その1)



同(その2)



散策路を点検しながら歩くメンバー



散策路の手直し作業



立ち入り禁止の柵の補強作業



差し入れのぜんざいを食べる学生さんたち



● 次回 : 2014年 2月 1日(土) 定例活動。

次回からは、また従来どおりの第1土曜日の活動に戻ります。まだ寒さが続いていると思いますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちします。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、気温は低かったものの冬晴れの天気にも恵まれました。ふもとの北浦池の西側の雑木林は、広葉樹がすっかり葉を落とし冬の里山の姿になりました。



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

冬本番の金ヶ崎公園には、目立った花は咲いていませんでしたが、その中で開き始めたスイセンの花を数輪見つけました。木の実では、カナメモチがたくさん赤い実を付けていました。キノコの仲間も、あまり見かけなくなりましたが、おいしそうなキノコを2つ見つけました。ひとつはナメコ、もうひとつはキクラゲの仲間のように見えてましたが、命が惜しいので手を付けずにおきました。

野鳥では、北浦池でマガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギを観察しました。公園内では、ヒヨドリ、シロハラ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、ハシブトガラス、キセキレイ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、コゲラ、エナガ、トビなどを見かけました。昆虫の仲間はまったく見かけませんでした。

おまけになりますが、今朝の冷え込みで5cmほどありそうな霜柱も観察できました。

咲き始めていたスイセンの花



カナメモチの赤い実



ナメコ?のようなキノコ



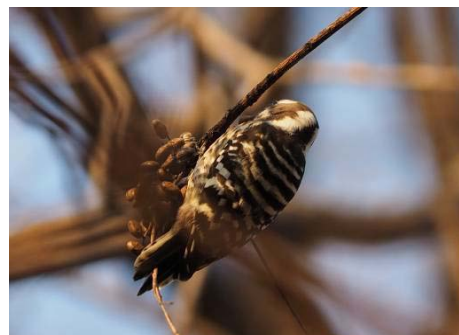
キクラゲ?のようなキノコ



カワウ



コゲラ



キセキレイ



ジョウビタキ



ハクセキレイのペア



霜柱

